



政府統計

報道関係者 各位

平成 29 年 9 月 15 日

【照会先】 保険局調査課

課 長 山内 孝一郎 (内線 3291)

数理企画官 仲津留 隆 (内線 3293)

担当係 医療機関医療費係 (内線 3298)

電話： 03(5253)1111 (代表)

03(3595)2579 (直通)

「平成 28 年度 医療費の動向」を公表します ～概算医療費の年度集計結果～

厚生労働省では、医療費の動向を迅速に把握するために、医療機関からの診療報酬の請求に基づいて、医療保険・公費負担医療分の医療費を集計し、毎月、「最近の医療費の動向」として公表しています。

このたび、平成 28 年度分の集計結果がまとまりましたので、「平成 28 年度 医療費の動向」として公表します。

本資料における医療費は、速報値であり、労災・全額自費等の費用を含まないことから概算医療費と呼称しています。概算医療費は、医療機関などを受診し傷病の治療に要した費用全体の推計値である国民医療費の約 98%に相当しています。

【調査結果のポイント】

- 平成 28 年度の医療費は 41.3 兆円となり、前年度に比べて約 0.2 兆円の減となった。
(表 1-1)
- 医療費の内訳を診療種別にみると、入院 16.5 兆円 (構成割合 40.1%)、入院外 14.2 兆円 (34.3%)、歯科 2.9 兆円 (7.0%)、調剤 7.5 兆円 (18.2%) となっている。(表 3-1)
- 医療費の伸び率は▲0.4%。診療種別にみると、入院 1.1%、入院外▲0.4%、歯科 1.5%、調剤▲4.8%となっている。(表 3-2)
- 1 日当たり医療費の伸び率は 0.3%。診療種別にみると、入院 1.3%、入院外 0.7%、歯科 2.0%、調剤▲5.5%となっている。(表 5-2)
- 医療機関を受診した延患者数に相当する受診延日数の伸びは▲0.7%。診療種別にみると、入院▲0.2%、入院外▲1.0%、歯科▲0.5%となっている。(表 4-2)
- 医療費の伸び率については、平成 27 年度は C 型肝炎治療薬等の抗ウイルス剤の薬剤料の大幅な増加等により高い伸びとなったのに対し、平成 28 年度は診療報酬改定のほか、抗ウイルス剤の薬剤料の大幅な減少等により一時的にマイナスとなったと考えられる。なお、平成 27 年度及び平成 28 年度の 2 年間の平均の伸び率は 1.7%となっている。

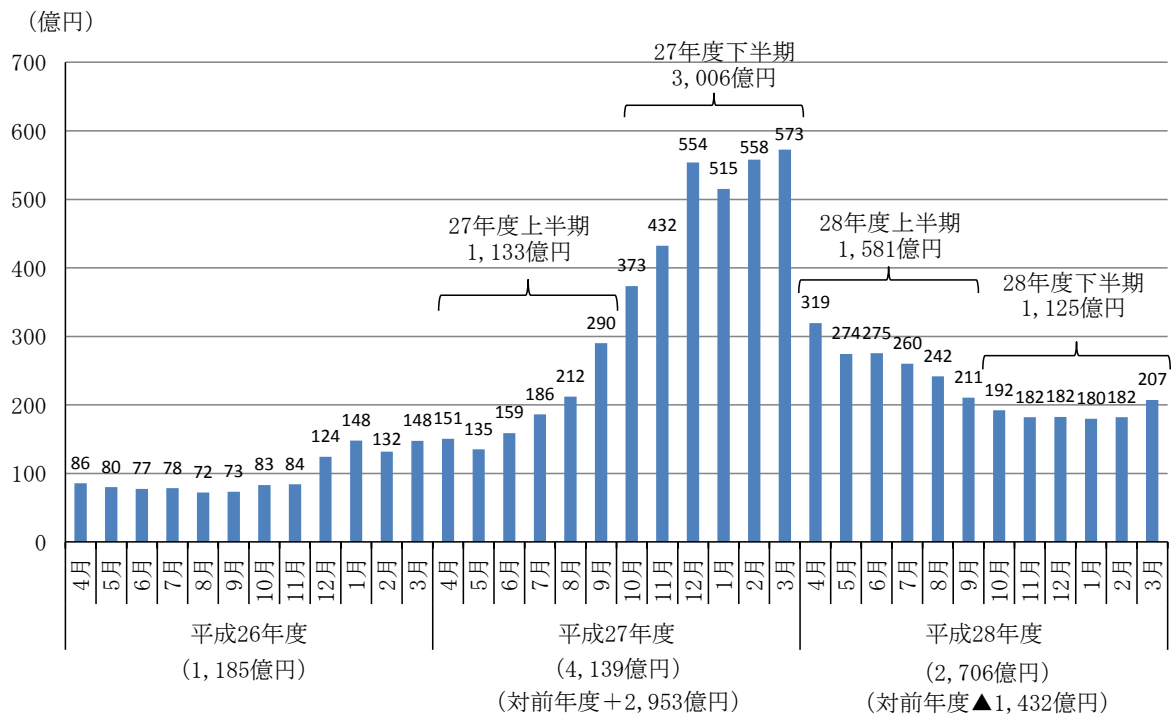
平成 28 年度医療費の動向は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス (<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/database/>)

【参考1】 医療費の動向

| | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|----------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 医療費（兆円） | 38.4 | 39.3 | 40.0 | 41.5 | 41.3 |
| 医療費の伸び率（%） （参考：休日数等補正後） | 1.7 (2.0) | 2.2 (2.2) | 1.8 (1.9) | 3.8 (3.6) | ▲0.4 (▲0.4) |
| 1日当たり医療費の伸び率（%） | 2.6 | 3.1 | 2.1 | 3.6 | 0.3 |
| 受診延日数の伸び率（%） | ▲0.9 | ▲0.8 | ▲0.3 | 0.2 | ▲0.7 |

【参考2】 調剤医療費のうち薬効分類「抗ウイルス剤」の薬剤料の推移



平成28年度の調剤医療費「抗ウイルス剤」の薬剤料は対前年度▲1,432億円。
これに院内処方を勘案すると医療費の伸び率への影響は▲0.5%程度と見込まれる。

【参考3】 平成28年度診療報酬改定

全体（ネット）改定率 ▲0.84%（診療報酬改定（本体）+0.49%、薬価等 ▲1.33%）
このほか、市場拡大再算定による薬価の見直し ▲0.19%、年間販売額が極めて大きい品目に対する市場拡大再算定の特例の実施 ▲0.28%